～心と心 笑顔と笑顔をつなぐまち奥多摩～

おくたま ふくし

第２１９号
令和５年７月２５日発行

発行 社会福祉法人奥多摩町社会福祉協議会
TEL 0428-83-3855 FAX 0428-83-2567 ＨＰ http://okusyakyo.or.jp/
〒198-0212 奥多摩町氷川199（奥多摩町福祉会館内）

飛騨路の旅を満喫してきました

去る６月14日～15日、ひとり暮らし仲間づくり旅行を開催し、岐阜県の下呂温泉へ行ってきました。

この事業は65歳以上のひとり暮らしの方を対象として実施され、４年ぶりに開催された今回は、参加者が16名と小人数ではありましたが、梅雨時にもかかわらず、旅の道中に立ち寄った馬籠宿、高山市内での朝市、飛騨まつりの森、赤かぶの里では雨に降られることもなく、二日間通して大変楽しんでいただけたようでした。

参加されました皆様、二日間大変ありがとうございました。

高山市、高山別院照蓮寺にて

飛騨まつりの森（写真左）と高山のさんまち通り（写真右）

就任あいさつ

会長　木村　光惠

この度、理事会において奥多摩町社会福祉協議会会長に再任され就任いたしました。

これまで、役職員をはじめ多くの住民皆様のご理解とご協力を賜り、会長の職を務めてくることが出来ました事を深く感謝申し上げます。

今後も、さまざまな助け合いが福祉の原点であること、困っている人や弱い立場の人に手を差しのべ寄り添い、住みやすい町にしたいという想いで、務めて参る所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの法的位置付けが「５類」に移行となりましたが、感染に留意した生活はまだしばらく続きそうです。

さて、町の高齢化が進む中でますます地域に暮らす住民同士が助け合い支え合うことが必要となり、行政・住民・社協等が力を合わせて住民がいきいきと生活できるように取り組んでいかなくてはなりません。

令和５年度は、従来からの事業に加え「成年後見制度推進機関」を設置し、制度の利用相談や手続き支援、後見人との相談などを行ってまいります。また、「重層的支援事業」に取組み、地域住民の支援ニーズに対応してまいります。

結びに、社会福祉協議会の事業執行・財政運営等益々厳しくなると思いますが、奥多摩町地域福祉活動計画「やまびこ計画」に基づき「心と心　笑顔と笑顔をつなぐまち奥多摩」を合言葉に役職員が一丸となって地域福祉の充実・向上に努めてまいりますので、住民皆様のご理解とご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げ、会長就任のあいさつといたします。

就任あいさつ

副会長　奥平　周二

先の理事会において副会長に再任された奥平でございます。日頃より、社会福祉協議会の事業にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和５年度は５月８日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類感染症になったことに伴い、社会福祉協議会の各種事業も中止することなく感染症対策を講じ、工夫をしながら実施できるよう取り組んでいるところです。

厚生労働省の専門家会合のメンバーらは「５類」への移行など見直しが行われたあとでも求められる感染症の対策についての見解を「新たな健康習慣」としてまとめ、感染対策の「５つの基本」として次の点をあげています。

1．「体調不安や症状があるときは自宅で療養するか医療機関を受診すること」
2．「その場に応じたマスクの着用やせきエチケットの実施」
3．「3密を避けることと換気」
4．「手洗い」
5．「適度な運動と食事」

これらは、コロナ禍当初の感染予防対策（新しい生活様式）と比較をすると今まで以上に個人・家族・事業所ごとの判断に委ねられる点が多くなってきたようです。第９波の可能性がニュースとなる中、国民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症予防意識を改めて認識すべき時期に来たとも言えるのではないでしょうか？

最後になりますが、この「新たな健康習慣」の中で町民皆様に「安定した福祉サービス」を提供できるよう務めて行きたいと考えておりますので、これからの社会福祉協議会の事業展開に今まで以上のご指導ご支援をお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

役員の就任・退任

任期満了に伴い次の方々が理事・監事に就任されました。

（敬称略）

就　任

【理事】

会　長　木村　光恵（再任）
副会長　奥平　周二（再任）
常務理事　菊池　良（再任）
理　事　師岡さと子（再任）
〃　堀口　豊（再任）
〃　清水　葉子（再任）
〃　濱野　文夫（再任）
〃　大野　尚（再任）
〃　河村　光春（再任）
〃　桑田　淳一（再任）
〃　澤本　清美（再任）
〃　大串　清文（再任）
監　事　大澤　健男（再任）
〃　古矢　房男（再任）

任　期

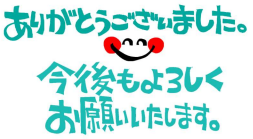
令和５年６月30日から令和６年度に関する定時評議員会終結時まで

【退　任】

理　事　前田　悦男

退任日　令和５年６月30日

長い間ご尽力いただきありがとうございました。



令和４年度　社会福祉協議会　事業・決算報告

はじめに

令和４年度は、前年度に引き続きコロナ禍の影響を受け、感染拡大防止のための対応、事業の中止や代替えを行う中、８月には戦没者追悼式を開催し、10月には第50回福祉大会を式典のみ開催し、50回を記念してシンボルマークを作成し本大会で発表させていただき、社協の名刺や封筒などの印刷物などに活用して行くことになりました。また11月には福祉バザーを小規模ながら開催し、社会福祉法人連絡会も開催し、インボイスと電子帳簿保存法の研修を実施することができました。しかしながらワクチン集団接種を７、８、11月に行った結果、福祉会館使用などでご利用者の皆様にはご不便をおかけしました。

この新型コロナウイルス感染症につきましては、国内での感染が確認されてから３年以上が経過しましたが、いまだ収束したとは言えず、今後も関係機関と連携を図りながら対策を継続して事業を展開してまいります。

また従来からの重要な事業として、高齢福祉分野では、外出支援サービス、筋力向上トレーニング、福祉機器と車いす仕様車の無料貸出し、高齢者見守り相談、老人クラブ連合会運営支援等の事業を、障がい者福祉分野では障がい者団体の運営と活動の支援、障害者自立支援事業を、ボランティア活動推進分野では、地域ささえあいボランティア事業を積極的に展開してまいりました。

介護分野では、介護サービス事業者として在宅高齢者の介護支援を中心に、高齢者在宅サービスセンター、ヘルパーステーション“おくたま”、ケアサポート奥多摩の運営を推進してきましたが、特にヘルパーステーションでは、正職員を増員し対応を図りました。

子ども家庭分野では、地域における育児環境の福祉向上を図るため、乳幼児及び児童福祉事業等を、そのほか、福祉団体への運営支援、福祉サービスの利用援助、生活困窮者等に対する相談・支援・貸付事業等をそれぞれ推進してまいりました。

引き続き役職員一丸となって、一人ひとりが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けていける「地域福祉」を推進してまいりますので、関係行政機関等をはじめ、町民皆様のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

※詳細についてはホームページをご覧ください。

令和４年度決算

（単位：円）

科目		社会福祉事業区分			内部取引消去	合計
		地域福祉事業	介護事業	合計		
【事業活動による収支】						
収入	会費収入	3,284,000	0	3,284,000	0	3,284,000
	寄附金収入	2,816,922	0	2,816,922	0	2,816,922
	経常経費補助金収入	62,619,732	0	62,619,732	0	62,619,732
	受託金収入	44,000,467	0	44,000,467	0	44,000,467
	事業収入	578,754	292,550	871,304	0	871,304
	介護保険事業収入	0	73,977,093	73,977,093	0	73,977,093
	受取利息配当金収入	21,370	539	21,909	0	21,909
	その他の収入	882,342	0	882,342	0	882,342
	事業活動収入計(1)	114,203,587	74,270,182	188,473,769	0	188,473,769
支出	人件費支出	78,309,530	70,436,485	148,746,015	0	148,746,015
	事業費支出	15,424,925	8,993,388	24,418,313	0	24,418,313
	事務費支出	9,108,033	6,415,000	15,523,033	0	15,523,033
	分担金支出	40,250	0	40,250	0	40,250
	助成金支出	1,397,000	0	1,397,000	0	1,397,000
	事業活動支出計(2)	104,279,738	85,844,873	190,124,611	0	190,124,611
事業活動資金収支差額 (3)=(1)−(2)		9,923,849	△11,574,691	△1,650,842	0	△1,650,842
【施設整備等による収支】						
収入						
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0
支出	固定資産取得支出	377,718	0	377,718	0	377,718
	基金積立資産支出	757,168	0	757,168	0	757,168
	施設整備等支出計(5)	1,134,886	0	1,134,886	0	1,134,886
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)−(5)		△1,134,886	0	△1,134,886	0	△1,134,886
【その他の活動による収支】						
収入						
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	0	0
支出	積立資産支出	3,018,083	614,100	3,632,183	0	3,632,183
	その他の活動支出計(8)	3,018,083	614,100	3,632,183	0	3,632,183
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)−(8)		△3,018,083	△614,100	△3,632,183	0	△3,632,183
予備費支出(10)		0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)−(10)		5,770,880	△12,188,791	△6,417,911	0	△6,417,911
前期末支払資金残高(12)		70,034,071	48,917,255	118,951,326	0	118,951,326
当期末支払資金残高(11)+(12)		75,804,951	36,728,464	112,533,415	0	112,533,415

あたたかいご寄付ありがとうございました

～７月１２日まで（敬称略）

月日	金額	ご主旨等	住所	氏名
３月28日	5,015円	小銭をためて福祉のために	氷川1871-1	栃久保ママさんクラブ 代表　菊池恭子
３月30日	10,000円	ベッドを借りたお礼		匿　名
３月30日	5,000円	ポータブルトイレを借りたお礼		匿　名
３月30日	4,001円	小銭をためて福祉のために		匿　名
４月６日	20,000円	福祉のために		匿　名
４月10日	10,000円	福祉のために		匿　名
５月９日	100,000円	ベッドのお礼	川野150-5	岡部ミネ子
５月12日	100,000円	亡夫山田浩の生前謝意	氷川207	山田美保子
５月12日	100,000円	青梅マラソンチャリティーを	港区港南4-6-49	一般財団法人 青梅マラソン財団
６月６日	5,000円	社会福祉協議会へ寄付金	朋友会海沢教室	海沢828-6
６月６日	10,000円	福祉のために	長谷見二千枝	海沢828-6
６月７日	38,980円	奥多摩町の皆様のために	青梅市新町4-8-2	株式会社アクセルオート
６月12日	11,711円	福祉のために	海沢844	牧野立治
６月13日	16,312円	福祉のために（小銭）		匿　名
６月13日	194円	小銭を福祉のために		匿　名
６月16日	1,400円	畑で採れたインゲンの売り上げを福祉のために		匿　名
６月16日	31,200円	住宅デーの収益を	棚澤468-7	東京土建西多摩支部 奥多摩分会
６月19日	30,000円	亡次男友則の遺志として	日原766	原島リキ
６月20日	10,000円	福祉のために		匿　名
６月20日	30,000円	福祉のために	氷川1380	㈲三共堂薬局
６月26日	1,739円	福祉のために	青梅市今井 3-3-182	スイハン企業㈱ 代表取締役社長川野宗男

月日	品物・数量	住所	氏名
３月７日	未使用切手多数	丹三郎276	澤本安弘
３月14日	紙おむつ２袋		匿　名
３月15日	未使用切手多数	大丹波733-5	大串久美子
３月31日	トイレットペーパー１袋		匿　名
５月17日	紙おむつ６袋　包帯６箱	日原877	大舘譲司
５月23日	紙おむつ３袋		匿　名
６月15日	タオル48枚　未使用切手多数		匿　名
６月19日	紙おむつ31袋		匿　名
７月11日	紙おむつ1袋　尿取りパット1袋		匿　名

※前号の広報紙において澤本安弘様と匿名の方の寄付物品の掲載に誤りがありましたので再掲し、お詫び申し上げます。

赤十字会員増強運動にご協力ありがとうございました

５月に実施いたしました、日本赤十字会員増強運動には、町民皆様にご協力をいただきまして大変ありがとうございました。集まりました活動資金は全額、日本赤十字社東京都支部へ送金させていただきます。

自治会名	協力会員（2,000円未満）		会員（2,000円以上）		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
川井	111	76,000	1	2,000	112	78,000
大丹波	101	57,950	5	19,000	106	76,950
梅沢	37	27,500	0	0	37	27,500
丹三郎	59	34,400	0	0	59	34,400
小丹波	262	168,800	1	5,000	263	173,800
棚沢	134	83,300	1	2,000	135	85,300
白丸	23	22,200	0	0	23	22,200
大氷川	116	81,000	1	10,000	117	91,000
常磐	62	44,200	0	0	62	44,200
長畑	46	31,500	1	2,000	47	33,500
南氷川	56	40,000	5	22,000	61	62,000
栃久保	64	49,300	1	2,000	65	51,300
大沢	11	6,000	1	2,000	12	8,000
日原	22	18,500	2	4,000	24	22,500
海沢	90	66,500	3	12,000	93	78,500
境	34	20,000	1	3,000	35	23,000
中山	15	13,000	0	0	15	13,000
小河内	50	36,500	1	2,000	51	38,500
合計	1,293	876,650	24	87,000	1,317	963,650

皆様よりご協力いただきました活動資金は

◎災害時等の救護・救援活動のために
◎救急法・健康生活支援講習等の講習のために
◎献血バスの整備や献血運動推進のために
◎看護施設等の運営のために
◎看護師の養成のために
◎感染症に対する医療支援

などの事業に役立てられます。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

子どもたちの笑顔満開

７月６日、奥多摩文化会館にて「保育園児等観劇招待事業」として、人形劇の上演をしました。

「劇団プーク」の皆さんによる「ちいさなちいさな人形劇」「ハリネズミと金貨」の二演目を上演していただき、会場内が園児たちの笑顔と歓声でいっぱいになりました。

演目「ハリネズミと金貨」

職人技を目の前で

６月４日に町内二つの会場で、東京土建西多摩支部奥多摩分会による第46回住宅デーが開催されました。

「地元建築職人が地域に奉仕する一日」として、住宅に関する無料相談や軽微な修繕、低料金での包丁研ぎやまな板削りが行われ、収益金が社会福祉協議会へ寄付されました。

作業の様子

奥多摩町戦没者追悼式

社会福祉協議会では、先の大戦での奥多摩町出身の戦没者に対し、追悼の誠をささげると共に、これからの平和を願うことを目的として、奥多摩町戦没者追悼式を執り行います。

全国戦没者追悼式に日時を合わせて執り行い、ライブビューイングにより天皇陛下のおことばをスクリーンに投影します。

日時　令和５年８月15日（火）
午前11時50分～

会場　福祉会館

昨年の追悼式の様子

その他

当日、参列を予定される方は、平服でお越しください。

【新任職員の紹介】

地域福祉課
ボランティア係
主事補　須﨑　千尋
（すざき　ちひろ）

４月から社会福祉協議会に入職しました須﨑千尋と申します。

生まれも育ちも大丹波なので私のことを知っている方もいるかもしれません。

私は、ボランティアを担当するため、ボランティアの方たちと接する機会が多くなると思います。

現在は、社会福祉主事取得に向けて勉強中です。

まだまだ至らない所もあると思いますが、奥多摩町の福祉のために頑張りたいと思います。

よろしくお願いします。

第２５回　福祉バザー

６月３日に第25回福祉バザーを開催しました。模擬店も再開し、コロナ禍前の規模での開催を予定しておりましたが、台風接近のため模擬店を舞台に移しての開催となりました。

当日は悪天候にもかかわらず多数の方にご来場いただき大変盛況でした。

販売終了後は同会場で、「ボランティアの集い」が開催され、多くのボランティアさん、住民皆さまに参加していただきました。

「Ogouchi Banban Company」による歌とダンスの披露や、町内の福祉施設の技能実習生の方々の「日本への質問コーナー」、「大プレゼント抽選会」など、ボランティア団体・個人など多くの人が集まり、情報交換だけでなく、レクリエーションを通して、楽しい時間を過ごすことができました。

活気あるバザー会場

ボランティアの集いの様子

奥多摩中学校ボランティア部

令和３年に創部した奥多摩中学校ボランティア部、地域貢献を成長していく部員の皆さんの現在の活動を不定期ですが掲載します。

５月９日（火）氷川キャンプ場近くの河原でクリーン作戦を行いました。ゴールデンウィーク明けということもあり、多くのゴミがありました。中でも、タバコの吸い殻などの小さいゴミが多く、部員たちは石の間に入り込んでしまったものを取り難そうに拾っていました。また５月１⊠（日）には、「ＯＫＵＴＡＭＡお太助隊」と「地域包括支援センター」とのコラボで、フードドライブ活動に参加しました。昨年ふれあいまつりでも同じ活動を行っていたので、慣れた様子で食品の賞味期限や内容量などを書類に書き込んでいました。

クリーン作戦で河川のゴミを拾う

フードドライブ活動に参加

「高齢者が住みやすい町づくり」活動の一環として、５月21日（日）氷川キャンプ場近くの河原でクリーン作戦を行いました。ゴールデンウィーク明けということもあり、多くのゴミがありました。中でも、タバコの吸い殻などの小さいゴミが多く、部員たちは石の間に入り込んでしまったものを取り難そうに拾っていました。また５月１⊠（日）には、「ＯＫＵＴＡＭＡお太助隊」と「地域包括支援センター」とのコラボで、フードドライブ活動に参加しました。昨年ふれあいまつりでも同じ活動を行っていたので、慣れた様子で食品の賞味期限や内容量などを書類に書き込んでいました。

旗の下に入れるのが難しい

ホールインワンを狙って集中！

スコアの付け方を教わってます

ボランティア通信
ボランティア・センターおくたま

No. 117

社会福祉法人
奥多摩町社会福祉協議会
奥多摩町氷川199
（福祉会館１階）

電　話：(0428)83-3883
ＦＡＸ：(0428)83-2567
E-mail：borasen@okusyakyo.or.jp

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://okusyakyo.or.jp/

開所時間
月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時30分

ドクター片倉のここだけの話

ボランティア・センターおくたま
運営委員会　委員長
双葉会診療所　院長　片倉和彦

たまたまがまたまたに

48年前の浪人中もそれなりに忙しくて、芸能山城組公演でバリ島の音楽に惹かれたり、高文研という小出版社に顔を出して知的障害の映画を観たり、全日本ろうあ連盟で手話の本を買ったり、代々木ゼミナールで小田実講師に世界の話を聞いたり、パチンコや雀球をしたりしていて、でも、飽きてました。

自宅から離れた大学に合格し、松本市でゆうゆうと一人暮らしを始めました。聞こえない理学部の先輩に連れて行ってもらって、松本手話サークルに入りました。たまたま手話サークル花見があり、ろうあ協会ボウリング大会があり、楽しくなりました。木曜日の手話サークルの後は喫茶店から飲み屋さんに行って、手話サークル会員もろう者も社会人だったので、学生の片倉は興味津々でいろいろ聞きました。ろう者の手話がわからないと隣のろう者が解説をしてくれました。葬式の時の香典の出し方なども教えてもらいました。

ある時ろうあ協会の将棋大会があって、毎年、優勝するのが隣の塩尻市ろうあ協会の人だったので、松本市ろうあ協会チームの片倉はみんなから応援され、優勝した時にはみんなで喜んでもらいました。居場所ができてうれしくなり、5年の時に京都の施設でろう重複の人たちと話し、それがきっかけとなって、精神科に進んで、地元のろう者から「こんな人がいる」「この人はずっと入院している」などと情報をよせてくれるようになり、それが今につながっています。

ボランティアリレートーク

地域ささえあいボランティア
特別協力会員　堀口　利明

地域ささえあいボランティアで特別協力会員の堀口です。

このボランティアは、地域で困っている方を助ける事業で、援助を受けたい方に対して援助できる方が支援する制度で、利用したい方のお宅に行って見守りなどをする協力会員と車で送迎などをする特別協力会員がおり、私は数年前から車での送迎をする特別協力会員をしています。

町内では、高齢者が増えている中、公共交通機関などを利用したいが脚が悪く電車やバスの乗り降りが大変である、買い物に行きたいが重いものや大きな物を持って帰るのが大変である等の声をお聞きします。

そういう方のため、私は空いている時間があれば依頼は積極的にお受けし、令和四年度は延べ100件以上の依頼を受け、利用会員の方からはとても感謝されます。

また、移動中の車内での利用会員さんとの会話も楽しみのひとつです。

10分程度の利用から長時間掛かる利用まで、皆様のお役に立てればと思いこれからも頑張ります。

この制度をまだまだご存じない方もいらっしゃいますのでもっとPRし、多くの方が利用して頂けたらと思います。

次は、ささえあいボランティアや配食ボランティアで活躍されている榎戸早百合さんにバトンを渡します。

堀口さんとボランティアで使用している愛車

音訳ボランティア養成講座の開催について

　音訳ボランティアの活動は、視覚に障がいがある方々の視覚の代わりとなり、書いてあることを書いてある通り、正確に音声として読み上げ伝える音訳活動をしています。また、実際に音訳をその場で行うだけでなく、音訳されたものの校正や音訳データの編集なども音訳ボランティアの活動内容に含まれています。
　本講座は、視覚に障がいのある方々のために文章を朗読して音声データにする「音訳」ボランティア活動にご興味のある方を対象に、音訳の基礎知識と技術を学ぶための講座です。視覚に障がいのある方々がより豊かな生活を送ることができるよう、ご参加をお願いいたします。

講　　師　　音訳・朗読の会ブライユ　平井　任子　先生

日　　程　　令和５年９月～令和５月１１月までの毎週木曜日（全10回）
9/7・9/14・9/21・9/28・10/5・10/12・10/19・10/26・11/2・11/9
（予備日11/16）

時　　間　　午後２時～４時

場　　所　　奥多摩町福祉会館

参 加 費　　無料

募集人数　　１５名程度（最小開催人数６名）

受講対象者　奥多摩町在住・在勤（再受講可）

申込方法　　８月２５日(金)までに電話又は
ホームページからお申し込みください。

過去の講習会の様子

お申込み・お問い合わせ
ボランティア・センターおくたま　電話８３－３８８３

使用済み切手のご寄付ありがとうございます　～7月12日まで

盛田正輝様	役場住民課様	小山自動車整備工場様
岡部みずほ様	金子敏子様	大氷川食糧販売所様
小沢建治様	清水土木建設㈱様	奥多摩工業㈱様
お食事処ちわき様	小河内振興財団様	栃久保ママさんクラブ様
匿名４件		